

校内マラソン大会が開催されました 自分の目標に向かって精一杯の頑張りを見せてくれました



去る11月5日(土)は薄曇りの天候となり、絶好のマラソン日和のもと、校内マラソン大会が開催されました。

子どもたちは、この日に備え、10月より約1ヶ月間、本番に向け、中休みや体育の時間を中心に練習を重ねてきました。本番当日は、1年生と2年生は学校周辺を回り校庭に戻る1.6kmの低学年生コースを、3年生と4年生は、下於曾から赤尾方面に向かう2.6kmの中学年生コースを、5年生と6年生は、中学年生コースをさらに下り赤尾のバイパスを上り校庭に戻ってくる4.0km高学年生コースを、それぞれの子どもたちが、自分で立てたそれぞれの目標に向かい、精一杯の走りを見せてくれました。



昨年より良い記録や良い順位を出すことを目標にした子どもや、最後まで歩かずに走りきることを目標にした子どもなど、それぞれの目標に向かって一生懸命に走っていましたが、沿道で応援をして下さった多くの保護者や地域のみなさんの声援に背中を押され、自分の目標を達成する結果が出せた子どもも多かったように感じました。自分の目標に向かい頑張った全ての子どもたちに拍手を送りたいと思います。その中で、4年生2人と6年生2人が大会新記録を出しました。とても素晴らしいですね。おめでとうございます。

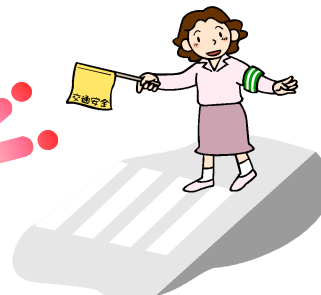
コース	性別 学年	男子					女子				
		組	順位	氏名	記録	備考	組	順位	氏名	記録	備考
1・2年 1.6km	1	1	第1位	山口 瑛大	7分 47秒		1	第1位	古屋 明	7分 34秒	
		1	第2位	堀内 應佑	7分 57秒		1	第2位	保坂 麦衣	8分 20秒	
		1	第3位	芳賀 央次郎	7分 57秒		3	第3位	岩瀬 芭奈	8分 21秒	
	2	1	第1位	武井 聖	7分 03秒		1	第1位	保坂 咲良	7分 08秒	
		3	第2位	三森 圭人	7分 11秒		3	第2位	志村 明音	7分 37秒	
		1	第3位	廣瀬 勘太	7分 13秒		3	第3位	佐藤 千紗	8分 01秒	
3・4年 2.6km	3	2	第1位	中村 稜央	12分 39秒		2	第1位	小池 芽彩	13分 41秒	
		2	第2位	藤原 昂平	12分 39秒		1	第2位	藤原 以都	14分 25秒	
		1	第3位	古屋 快	13分 29秒		2	第3位	古屋 千結	14分 36秒	
	4	1	第1位	反田 慶二郎	11分 19秒	大会新	1	第1位	樋口 陽葵	12分 26秒	大会新
		2	第2位	橋爪 航	12分 05秒		1	第2位	手塚 紬	13分 44秒	
		1	第3位	登 俊太	13分 05秒		1	第3位	保坂 優芽	13分 46秒	
5・6年 4.0km	5	1	第1位	中村 南将	16分 50秒		1	第1位	阿部 琉唯	18分 16秒	
		1	第2位	廣瀬 大晴	17分 38秒		2	第2位	桑田 悠萌	18分 39秒	
		2	第3位	日原 三月	18分 24秒		1	第3位	鶴田 露子	19分 21秒	
	6	2	第1位	岩波 穂音	15分 16秒	大会新	2	第1位	田邊 美藍	17分 07秒	
		2	第2位	富岡 雄真	15分 30秒	大会新	2	第2位	樋口 椎捺	17分 55秒	
		1	第3位	手塚 繪	16分 24秒		1	第3位	相生 真佑	20分 00秒	

小川壮太先生 と 3名のお友達 アスリートの皆さんが先導をしてくださいました



低学年、中学年、高学年の各コースの先導は、昨年に引き続いて、小川壮太先生と、県下一周駅伝の甲州市チームなどでいつも一緒に練習をしている、仲間の皆さん3名が子どもたちの先導をしてくださいました。本物のアスリートの人たちに導かれ、子どもたちの走りも心なしか軽やかに感じられました。また、スタート直後やゴール前の子どもたちのダッシュなどにも、笑顔で声をかけながら対応したり、先導を終わって一度戻ってきた後に、さらに次のコースに笑顔で先導に出て行くアスリートの皆さんの、ポテンシャルの高さに改めて感心させられました。やっぱり本物のアスリートの皆さんはすごいですね。本物の皆さんの走りを身近で感じられたことも、子どもたちにとっては大きな学習になったのではないかと思います。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

ご協力ありがとうございました 130名を超える保護者の皆様方が協力してくださいました



南小は市街地にある学校なので、マラソン大会のような行事を行うときにコース上での子どもたちの安全確保のための対策がとても大きな問題としてあげられます。本校では毎年、保護者の方々にご協力をいただいているのですが、今年度は130名を超える皆様方にご協力をいただきました。お陰様で、無事大会を開催する事ができました。皆様のご協力に感謝いたします。現在はコロナ禍の中ですので、ご協力いただける予定をされていた方が、ご家族が風邪症状などによってご協力がいただけなくなる状況などもあったのですが、そのような時も、急なメール等での呼びかけに多くの皆様方から返事をいただき、とても感謝しております。

保護者の皆様方の学校に協力される姿は、きっと子どもたちの目にもしっかりと映り、お父さんやお母さんが見守ってくれた事を嬉しく思ったり、学校の仕事をしている事を誇らしく感じたりしたことと思います。子どもたちが成長し父親や母親になった時に、保護者の皆様方と同様に、積極的に子どもたちのために行動する事ができる大人になってくれたらと願っています。

かわいい「魔法使い」が増えています 挨拶は人を幸せにする「魔法の道具」



南小では、「挨拶・返事」については指導の3本柱の一つとして重点的に指導を行っています。各教室でも担任の先生方が、「挨拶・返事」の大切さについて話し、指導を重ねていますので、

「元気な声で挨拶ができる子」 「相手の目を見て挨拶ができる子」

「笑顔で挨拶ができる子」 「立ち止まって挨拶(静止礼)ができる子」

『〇〇先生おはようございます』など名前を入れて挨拶ができる子」

など、とても素敵な挨拶をする子どもたちが増えてきています。私は、子どもたちからそのような挨拶を受けると、魔法にかかったように、とても嬉しくなり、なんだか心が温かくなるような感覚を覚えます。

挨拶や返事は人を敬う気持ちのあらわれでもあります。きちんとお辞儀をすれば、相手は「自分を大切に扱ってくれた」と感じ、嬉しい気持ちになります。そうするとお返しに、あちらも思いやりをもって接したくなります。相手とのそのようなやりとりの中で、子どもたちの心は育っていきます。

挨拶は行った自分だけでなく、された相手も幸せな気持ちにさせる「魔法の道具」です。また、この魔法の道具は、誰でも使おうと思えばすぐに使える道具なのだと思います。

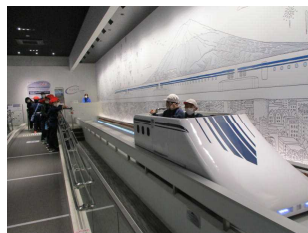
これからも南小に、魔法の道具を上手に使いこなす「かわいい魔法使い」が増えてくれることを願っています。ぜひご家庭でも「魔法の練習」をたくさんさせてあげてください。

実りの秋 学校を飛び出した皆さんの体験をしました

1~4年生 秋のバス遠足

去る10月6日(木)に1年生から4年生が秋のバス遠足に出かけました。当日はあいにくの雨模様でしたが、2年ぶりのバス遠足、1・2年生にとっては初めてのバス遠足でしたので、子どもたちはとても楽しみに出かけました。

1年生は県立科学館、2年生は富士湧水の里水族館、3年生は桂川ウェルネスパークと県立リニア見学センター、4年生は六郷印章業連組合と豊富郷土資料館に行きました。それぞれの学年が、年齢に応じた様々な体験学習を行い、楽しい1日となりました。



5年生 県外学習旅行

5年生は、10月20日(木)に静岡県に県外学習旅行に出かけました。当日はとてもいい天気恵まれ、まさに校外学習日和になりました。新しくできた中部横断道を使って静岡県に向かい、はじめは登呂遺跡を見学しました。博物館で当時の生活を学んだり、遺跡に建つ竪穴式住居を見学したり、火起こしの体験をしたりと、大昔の人々の生活を学ぶ事ができました。その後は静岡県地震防災センターに行き、お弁当を食べた後、地震防災センターを見学し、地震について学んだり、地震が起きたときの対処の仕方などについて学ぶ事ができました。



6年生 2泊3日の修学旅行

6年生は楽しみにしていた修学旅行に、10月26日(水)~28日(金)の2泊3日で行ってきました。コロナ禍の中での修学旅行ですので、予定通り実施できるか心配されましたが、今年は2泊3日の予定通り実施する事ができました。

1日目は、はじめに新江の島水族館に行き、珍しい湘南の海に生息する生き物たちを見る事ができました。その後鎌倉に移動し、鎌倉の大仏・鶴岡八幡宮・建長寺を見学しました。建長寺は大和の栖雲寺の青柳住職が兼務でお務めになっている関係で、青柳住職に普段は見せてもらえないところまで案内をしていただきました。

2日目は東京に移動して国会議事堂を見学しました。普段テレビでしか見た事のない参議院の議場や貴賓室、中央広間などを見学させてもらいました。その後、科学技術館で様々な体験をしたり、東京臨海広域防災公園では体験的に地震から身を守る手段についてについて学びました。

最終日の3日目はキザニア東京に行き、モデルになったり、ハンバーグ屋さんや工場に勤めてみたり、地下鉄の運転士やパイロットになってみたりと、様々な職業の勤務体験を楽しみました。



南小の先生方の 好きな言葉 大切な言葉



前月号から何回かに分けて、南小の先生方の「好きな言葉」「大切な言葉」「パワーワード」を紹介させていただきます。言葉との出会いは、時としてその人の人生を変えることもあると言います。南小の先生方の「大切にしている言葉」。その言葉を紹介させていただくことで、保護者の皆さん方や子供たちに、新たな素敵な何かが起こってくれることを期待しながら、紹介させていただきます。

第2回目は、3・4年生とたんぼぼ学級の先生方と細川先生の「好きな言葉 大切な言葉」を紹介させていただきます。

◇ 3年1組 担任 池田 理恵子 先生

「笑顔」

どんなつらい時も笑顔で乗り切りたいと思っています。具体的なエピソードは無いのですが、そんな思いを持って毎日を笑顔で過ごしています。

◇ 3年2組 担任 小鳥 居快人 先生

「情けは人の為ならず」

小さい頃この言葉をよく母から聞かされ、小さいながらも「人の為に何かをすることは自分の為なんだ」と心に留まり、今でもずっと大切にしている言葉の一つです。

◇ ひまわり学級 担当 長沼 薫 先生

「ネバーギブアップ」

今夏、NHK特集で坪井直さんの映像を目にした際、生涯をかけて平和の尊さを訴え続けた彼の「ネバーギブアップ」という言葉の重さに衝撃を受けました。ロシアとウクライナの戦争、台湾をめぐる状況など、世界中で今もなお続く紛争に、平和を願う気持ちが折れそうになる中、「あきらめたら終わりだよ。ネバーギブアップだ。」と世界に向かって訴えた彼の言葉は、本当に深い意味を持つものだと実感しました。広島・長崎の原爆を、戦争を、知らない世代に移り変わりつつある今、私たちはどのようにして平和を願う気持ちをつないでいったらよいのか、考えていきたいと思っています。

◇ ひまわり学級 担当 野尻 あや子 先生

「努力に勝る天才なし」

中学生のとき、担任の先生からいただいた言葉。精神的に落ち込み、自分を見つめ直し、努力をはじめたときのことです。

◇ 不応担当 細川 なお美 先生

「一に寄り添い 二に寄り添い 三に褒めて 四に叱り 人は育つ。教育は感性・想像力・忍耐力である。」

長年教育に携わってきて、学校教育や家庭教育の覚悟やしつけ、連携などを考える中で、これらの言葉を心に置いて子どもたちの教育に当たっています。

◇ 4年1組 担任 後藤 美樹 先生

「チャンスがくるかどうかよりチャンスと気づけることを大切にしたい。」

中学校の先生が卒業文集に書いてくださった言葉です。何事もチャンスが無いといって諦めるより、自分でチャンスを掴み取ることが大切だと気付かされた言葉です。

◇ 4年2組 担任 真島 陸斗 先生

「俺が知りたいのは楽な道のりじゃない。険しい道の歩き方だ。」

これは少年ジャンプのNARUTOという漫画の台詞です。私が中学3年生の時、この台詞から、夢を叶えるために楽な道のりを求めないことの大切さを学びました。どの道が楽なのか知る力よりも、困難にぶつかった時にも乗り越えられる険しい道の歩き方をあえて求める姿勢。そして、自分から道を切り開いて、みんなの道しるべとなる強い想いと覚悟。このセリフは「そのような姿を子どもたちにも見せていきたい」と、自分を鼓舞してくれる言葉です。

◇ ひまわり学級 担当 藤沢 早理 先生

「何も咲かない寒い日は下へ下へ根を伸ばせ。やがて大きな花が咲く。」

高校生の時に部活で大怪我をしてリハビリなどで辛い時期に励まされた言葉です。今でも逆境のときにこの言葉を思い出し、諦めずにコツコツと努力を続けていけば、いつかは大きな花が咲くことを信じて、乗り越えるようにしています。

◇ 栄養教諭 長谷川 耶慶 先生

「好きこそ物の上手なれ」

子どもの頃、勉強に苦手意識を持っていました。しかし、大学進学を機に、幼いころから大好きだった「食べる事」について学ぶ場に身を置くようになると、どうせやるなら極めたいと管理栄養士を目指し、今では「好き」を仕事にできるようになりました。今思えば、苦手だった勉強のほとんどが「食べる事」につながっていることに気が付き、学ぶことの楽しさを実感していたのだと思います。些細な事でも「好き」へ思いは大切にしたいです。

